

紹介

◎新製品

アトリーナ™ 消臭液

肛門及び肛門腺施術の際の汚れた箇所や、ニオイのついた衣服、手指などの消臭洗浄を目的に開発された、植物由来成分の噴霧式の消臭剤。

製造元：BJ HOLDINGS(株) (LIX GROUP)

供給元：日本ライフサイエンス(株)

発売元：日本全薬工業(株)

問合せ先：日本全薬工業(株) CA事業部

☎024-945-2332

サーチフェクト®

フィプロニルと(S)-メトプレンを含有する従来製品に新たにアミトラズを配合した、犬専用のノミ・マダニ駆除剤。

発売日：2012年7月

販売元：日本全薬工業(株)

製造販売業者：メリアル・ジャパン(株)

問合せ先：コンパニオンアニマル部

マーケティンググループ 担当：小竹

☎03-6301-4724

FAX 03-5251-8194

E-mail : yasuhito.kotake@merial.com

行事等

- 6月3日：栃木県獣医師会第65回通常総会に山根会長出席
- 6月6日：獣医事審議会第1回免許部会に山根会長出席
- 6月7日：千葉県獣医師会平成24年度社員総会に山根会長出席
：埼玉県獣医師会総会に矢ヶ崎専務理事出席
- 6月8日：緊急災害時動物救援本部会議
- 6月11日：第19回日本獣医師会雑誌編集委員会
- 6月12日：中央畜産会第1回常務理事会及び常勤役員候補者推薦委員会に山根会長出席
- 6月15日：第3回動物福祉・適正管理対策委員会
- 6月17日：静岡県獣医師会第64回定期総会並びに狂犬病・家畜伝染病予防法施行60周年記念事業に近藤副会長出席
- 6月18日：業務執行幹部会議
- 6月19日：畜産技術協会第1回理事会及び第50回通常総会に山根会長出席
- 6月20日：長野県獣医師会第64回通常総会に山根会長出席
- 6月26日：中央畜産会第1回理事会及び第57回通常総会に山根会長出席
- 6月28日：平成24年度第3回理事会
：第69回通常総会

紹介

◎新刊

「野生との共存」行動する動物園と大学

東京都多摩地区にある日本獣医生命科学大学と井の頭自然文化園、多摩動物園の3者が連携して開催した連続講座「野生との共存」の書籍化。それぞれの施設で行われてきた、野生動物の保全活動や動物園の存在意義について解説された、第1部「いのちを守る」。動物をいかに“魅せ”、楽しみながら学びの場とし、身の回りの自然環境に興味を抱かせるかを考察した、第2部「いのちを伝える」。あまり知られていない動物園の研究機関・科学の拠点としての側面を分かりやすく紹介した、第3部「いのちを科学する」の3部構成となっている。それぞれの講演者が講演内容をもとに書き下ろした原稿が編集され

ている。

編著者：羽山伸一，土居利光，成島悦雄

著者：吉川美紀，草野晴美，天野未知，
田端直樹，児玉雅章，堀達也，
下川優紀

判型：A5判 160頁

定価：1,800円(税抜き)

問合せ：(株)地人書館

〒162-0835 東京都新宿区中町15

☎03-3235-4422 FAX 03-3235-8984

行事等案内

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
(FAMS) 第10回研修会

期 日：平成24年8月8日(水) 10:00～17:30
場 所：岩手大学総合教育研究棟(生命系)ほらんホール
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8

主 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター

テーマ：畜産物の放射性物質による汚染と除染の科学

目 的：東日本大震災後に発生した福島第一原子力発電所事故は、我が国の食の安全に大きな影を落としている。環境中に放出された放射性物質は、それぞれの半減期に従い放射能を減少させながらも長期間にわたって土壌から植物、さらに草食動物の体内へと移行して蓄積することから、種々の農産物や動物性食品の安全と安心を確保する上で大きな問題となっている。この研修会では、畜産物の放射線物質による汚染の現状を知り、どのように畜産物の放射性物質汚染に対処していくべきかを考え、認識を共有したい。

内 容：

- (1) 基調講演
「畜産物の放射性物質汚染と対策」
未 定
- (2) 講 演 1
「ヒトに対する低線量放射線の影響」
島田義也 (獨放射線医学総合研究所)
- (3) 「Farm to Tableにおける放射線物質汚染とその対策」
 - ① 「草地・土壌汚染の実態と対策」
佐藤直人 (岩手県農業研究センター畜産研究所)
 - ② 「畜産物・農産物除染の実態と対策」
吉岡邦雄 (福島県農業総合センター)
 - ③ 「食肉検査における現状と対策」
白岩利恵子 (岩手県食肉衛生検査所)

(4) 実 習
「放射性物質(能)測定装置の基礎」
佐藤 至 (FAMS 研究員)

(5) 講 演 2
「草地と畜産物の放射性物質汚染
—我が国の現状と施策—」
丹菊将貴 (農林水産省生産局畜産部)

対 象：動物生産、食料生産動物の医療・予防、及び食品衛生に関わる指導的立場の方
(生産農家、畜産技術者、獣医師、品質管理者、衛生管理者等)

募集人数：100名(電子メール、FAXにより先着順で受付)

受講料：5,000円(資料代)

※申込受付後に振込用紙を送付。なお、振込手数料は要負担。

受講証書：受講者には、岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター長が発行する受講証書を授与。

申込方法：

① FAX：申込書*に記入の上申込み。

* FAMS-HP (<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fams/index.html>) に掲載

② 電子メール：件名を「研修会申込」とし、参加者氏名(ふりがな)、所属、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを明記の上、申込み。

③ 修会終了後に情報交換会を開催。情報交換会への出欠も併せて要連絡。

申込締切：平成24年7月20日(金)

問合せ先：岩手大学農学地域連携推進室

(担当：伊藤)

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8

☎019-621-6108 FAX 019-621-6107

E-mail : fams@iwate-u.ac.jp

行事等案内

2013 アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会 (台北) の開催

アジア獣医師会連合 (Federation of Asian Veterinary Associations : FAVA) は、隔年で大会を開催しており、前回は2011年、インドネシア・バリ島で、アジア各国から多数の参加者を集めて開催されました。次回は2013年1月4日(金) から7日(月) の間、台北市 (台湾) の圓山大飯店 (Grand Hotel) で開催される予定です。

大会では、産業動物臨床、人と動物の共通感染症、動物福祉、野生動物医学、小動物臨床等に関し世界から著名な講師を招いて行う講演のほか、様々なセッションが企画されています。

発表演題の申込期限は7月31日まで、事前登録 (Early Bird) の期限は8月31日までとなっています。学会参加者向けのツアーも企画される予定になっていますので、後日、お知らせいたします。

奮って参加されるよう、お願いいたします。

2013 アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会のホームページ：

<http://www.2013favacongress.com/en/index.html>

平成24年度 日本獣医師会 獣医学術学会年次大会 (大阪市)

平成25年 **2月9日**(土) ~ **11日**(月・祝)
大阪国際交流センター，シェラトン都ホテル大阪

主催：公益社団法人 日本獣医師会 共催：公益社団法人 大阪市獣医師会
協力：近畿地区連合獣医師会 企画協力：公益社団法人 日本獣医学会
後援(予定)：農林水産省，環境省，厚生労働省，文部科学省，日本学術会議，大阪府，大阪市